

# 2019年度 第1回子ども・子育て会議議事 顛末

2019年6月28日(金) 18:30~

富良野市立図書館 3階会議室

## 1. 開 会

→新委員に教育長から委嘱状(教育長は退出)

## 2. 会長あいさつ

→欧米では早くから無償化がスタート

幼児期への投資効果は7倍に当たり、犯罪率の低下などにも寄与する

一方で、無償化に伴う質の向上の担保が必要

韓国では0歳~6歳まで無償化をスタートさせたが、保護者のみんなが

預けるようになって、保育所が忙しくなり質の低下を招いた

保育所の質の担保を保証する取り組みも同時に必要

## 3. 報告事項

### (1) 幼児教育の無償化について

.....**別紙**

→特に質問なし

### (2) 子ども子育てに関するニーズ調査について(最終報告)

→ぎょうせいの廣田氏よりダイジェストを中心に富良野市の課題を共有

.....**別紙**

・保護者の満足度を上げること

・行政に実施してもらいたい施策をひとつずつ潰していくことが重要

#### 各委員からの意見

・山崎氏:小学生として、幼保小連携に力を入れていく。

小中(保育)を強化し、PTAとのつながりを強化

お互いの理解が必要

市の事業とのかかわり・つながりが重要

**※幼小中高の連携だけでなく、「接続」が重要**

・桑折氏:経済的負担の支援が必要

医療費の支援

**※貧困対策が必要**

- ・ 鎌田氏：質の高い医療体制が大事  
富良野市への不満が多いことを知らなかった  
屋内施設への考え方が富良野は見てこない  
今後の IT 化を含め図書館の使い方改革が必要  
外国人の文化に接する機会を小さい時から必要

**※グローバル的な視点の強化が必要**

- ・ 岡野氏：特になし
- ・ 山崎氏：全員の満足度を上げるのは大変  
幼稚園や認可外保育ではそれぞれ保護者の立場が違いから  
今後の富良野の子育てのことを考えると幅広く大変だと感じた
- ・ 畠山氏：病気の時に祖父母がいない家庭はどうするのか？  
育児休暇が満足に取れない方はどうしているのか心配  
室内の遊び場は必要。カムイ・美瑛・秩父別に連れていく機会が多い  
身体を動かす機会を増やしていくことが重要

**※室内遊戯場は必要。身体を動かすことで体の機能強化**

- ・ 藤野氏：遊び場づくりとリラックスする母親の居場所づくりが必要  
自由の遊ばせながらリラックスしたい  
また大きな子どもの遊び場も必要  
大きな子どもも小さな子供も同居できるストレスのないゾーニングが必要  
中途半端な広さではなく、大きな空間が必要  
放課後の過ごし方で、市内の学童・へき地の放課後こども教室はいっぱいで  
足りてない状況

**※5歳児以降の放課後の学び・環境が非常に重要  
また発達障害の子どもたちの遊び場も重要**

#### 4. 協議事項

(1) 子ども・子育て支援計画 2025 の骨子（案）について . . . . **別紙**

- ・ 山崎氏：幅広くすぎて、どこまで踏み込んでいいのかわからない  
キーワードが羅列されているので、何をどこまで議論すべきかわからない
- ・ 亀淵部長：これまで計画が施策ごとにまとめたもの  
教育委員会の中に、子ども未来課が一緒になったことで幼保小連携していく  
幅広い内容になっているが、夢のある計画にしたい

- ・ 桑折氏：より現実的にニーズに即した形で前に向かっていく計画と理解  
2025年だけでなく、より現実的に取り組みやすいものからスタートさせていく
- ・ 鎌田氏：優先順位をつけて着実に潰していくことが重要  
たくさんの課題はあっていい
- ・ 岡野氏：何かに絞る  
やらなければならないことがたくさんあると思うが  
これだけはやろうという内容を整理してほしい  
子どもたちにとって何が必要か見極める
- ・ 山崎氏：お互いの立場を互いに知ることが必要  
保護者・経営者側が揃うこんな会議はないので大事  
ニーズ調査を知ってもらうことも大事
- ・ 畠山氏：男性の育児視点をもっと多く  
国際化なので富良野ならでは（自然を活かす）  
遊具のバージョンアップを富良野ならでは  
富良野の少年団が盛んなのでその強みを生かすこと
- ・ 藤野氏：幅広い世代に対応するのは大変  
母の不安解消の視点はいいこと  
全体とおして、母の不安解消の視点を  
人材が足りてない  
子育てだけでなく、様々な分野に人材不足がまたがる  
富良野への郷土愛を育てることが重要で人材不足につながるのでは

※課題のキーワードは連動していてよくできている  
多様な人間で保育していくことが重要  
保育の指導要綱が先でその後新学習要綱が新たになっている点を加える  
保育（育ち）の連続性の視点を

## （2）その他

### 5. その他

→次回は、8月26日の週（同じ時刻）で開催予定（全員OK）  
事前に内容はお送りします

### 6. 閉会